

平成28年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	制御性 T 細胞による免疫応答制御の包括的研究
研究代表者	坂口 志文
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>応募者は、医学生物学領域において世界的に注目を集めている制御性 T 細胞の発見者で、細胞から蛋白質、遺伝子のレベルに至るまで多面的に制御性 T 細胞の機能解析を進めてきた。その研究成果は基礎研究にとどまらず、ガンや免疫難病の治療への応用という観点からも高い評価を得ている。本研究は、制御性 T 細胞の特性を決定付ける胸腺での発生・分化段階における遺伝子発現調節、特にエピゲノム変化の解明を主眼としたもので、その研究成果は制御性 T 細胞の人為的作製・制御を介した疾患治療法開発につながるものとして期待が大きい。</p> <p>以上より、特別推進研究として推進すべき課題であると判断した。</p>